

第47回 全国高等学校選抜ホッケー大会

開催日時 3 月 29 日 (火) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】 < Aコート >

第1試合 女子 準決勝 9:30	岐阜各務野高等学校	4	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	玄界高等学校
第2試合 女子 準決勝 11:20	今市高等学校	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$	1	石動高等学校
第3試合 男子 準決勝 13:10	沼宮内高等学校	2	$\begin{pmatrix} 1 & - & 3 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$	4	今市高等学校
第4試合 男子 準決勝 15:00	天理高等学校	2	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	丹生高等学校

【各試合の結果・詳細】

Aコート 女子 第1試合

$$\text{岐阜各務野高等学校} \quad 4 \begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix} \quad 0 \quad \text{玄界高等学校}$$

<得点>

岐阜各務野 : 3分 北岡、29分 田中、37分 田中、55分 岡田
玄界 :

<戦評>

玄界高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々、迫力ある攻撃を見せる岐阜各務野高等学校は3分#5北岡がゴール前の混戦で押し込み先制点を挙げる。追いつきたい玄界も果敢に相手陣内に攻め込むが各務野の堅い守備に阻まれる。追加点の欲しい各務野は猛攻をしかけ29分にPCを取得し、#2岡田のヒットシュートのリバウンドを#7田中が決め2-0と追加点を挙げる。その後も各務野ペースで試合が進み前半戦を折り返した。
後半戦が開始。37分に各務野#10夢田が打ったセンタリングを#7田中がタッチシュートを決め3-0とリードする。得点が欲しい玄界は、粘り強い守備からカウンター攻撃を狙っていくも得点には至らない。54分に各務野はPCを取得し、#2岡田が豪快なヒットシュートを決める。一点を取りたい玄界だが各務野の守備を崩すことができず、4-0のまま試合が終了し各務野が2年連続で決勝にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	八張 誠	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	遠藤 博行・熊崎 里奈		福山 秀人

Aコート 女子 第2試合

$$\text{今市高等学校} \quad 0 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix} \quad 1 \quad \text{石動高等学校}$$

<得点>

今市 :
石動 : 45分 高島

<戦評>

今市高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。今市はパスワーク、石動高等学校はドリブルを持ち味にゴールを目指す。互いにシュートチャンスはあるものの、ゴールまであと一歩届かず、苦しい戦いが続く。両者ともに果敢に攻めるが、堅い守備を打ち破ることはできず両チーム無得点のまま前半戦を折り返した。
後半戦が開始。試合は石動のペースで進み、42分にPCを取得するが今市のDFに阻まれる。45分に石動#7高島がリバースシュートを鮮やかに決め先制点を挙げる。その後も60分、61分と立て続けにPCを取得するが得点にはつながらない。点を取り返したい今市も攻め込むが、石動の堅いDFに阻まれ得点につながらず試合が終了。1-0で石動が勝利し2年連続決勝戦へとコマを進めた。これで決勝戦は2年連続各務野対石動となった。

テクニカルオフィサー	刈谷 和代	アンパイア	藤原 信幸
ジャッジ	武藤 崇文・北川 友香子		児玉 茂樹

Aコート 男子 第3試合

沼宮内高等学校 2 $\begin{pmatrix} 1 & -3 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$ 4 今市高等学校

<得点>

沼宮内 : 7分 岩崎、45分 大下
今市 : 4分 高橋、20分 高橋、32分 高橋、63分 高橋

<戦評>

今市高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々、両チーム共に激しい攻防が続く。3分に沼宮内高等学校がPCを取得するも得点には結びつかない。その後4分、今市#10高橋がドリブル突破からブッシュシュートを決め、先制点を挙げる。反撃したい沼宮内は6分にPCを取得。今市#1GK永井の好セーブに阻まれるも、そのリバウンドを#10岩崎が力強いヒットシュートで決め、1-1に追いつく。一進一退の攻防が続く中、20分に今市がPCを取得し#8大嶋がスワイプで合わせたボールに#10高橋がタッチシュートでゴールに押し込み、2-1と今市がリードする。勢いに乗った今市は31分にPCを取得し、#11江田のドラッグシュートが決まり3-1と点差を広げ、前半戦を折り返した。

後半戦が開始。追いつきたい沼宮内は果敢に相手陣内に攻め込み、38分にPCを取得するも得点には至らない。引き離したい今市も攻めるが、沼宮内の堅い守備に阻まれ得点することができない。積極的に攻撃を仕掛ける沼宮内は45分#7大下がゴール前での混戦から得点し、3-2と点差を縮める。さらに沼宮内は、57分、58分と立て続けにPCを取得するが、得点には結びつかず、追いつくことができない。沼宮内の猛攻をしのいだ今市は、64分#10高橋が鋭いスワイプシュートで決め点差を広げる。4-2で今市が勝利し決勝戦へとコマを進めた。

テクニカルオフィサー	長屋 恭一	アンパイア	渡邊 道彦
ジャッジ	遠藤 博行・熊崎 里奈		益田 哲寿

Aコート 男子 第4試合

天理高等学校 2 $\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 1 丹生高等学校

<得点>

天理 : 23分 永吉、62分 永吉
丹生 : 12分 青山

<戦評>

天理高等学校のセンターパスにより前半戦が開始。12分丹生高等学校はPCを取得。丹生#7青山のヒットシュートを一旦は天理#1GK松田の好セーブに阻まれるも、そのリバウンドを再び#7青山が力強いヒットシュートで決め先制点を挙げる。反撃したい天理は果敢に攻め込み、22分、23分と立て続けにPCを取り、天理#9永吉が左隅に豪快にドラッグシュートを決め同点に追いつく。25分、丹生がPCを取得するが、天理#1GK松田に阻まれ得点することができず、1-1のまま前半戦を折り返した。

後半戦が開始。立ち上がりから丹生が一気に攻め立て、37分にPCを取得。#7青山がヒットシュートを放つが、アップボールとなり、得点にはならない。対する天理は、56分PCを取得。#2霧下がドラッグシュートを放つも、丹生#1GK杉本の好セーブで決めることができない。両チーム共に追加点が欲しい中、62分天理は#7沖原が放ったセンターリングに#9永吉が滑り込み、タッチシュートを決める。その後は、追いつきたい丹生の怒涛の攻撃が続き、丹生が連続でPCを取得。#7青山がヒットシュートに力を込めるが、惜しくもゴールポストにはじかれ得点には届かず、2-1で天理が勝利し決勝へとコマを進めた。

テクニカルオフィサー	刈谷 和代	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	武藤 崇文・北川 友香子		高橋 英行

明日の組み合わせ 〈Aコート〉

第1試合 女子 決勝 9:30	岐阜各務野高等学校	0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	石動高等学校
第2試合 男子 決勝 11:20	今市高等学校	0	$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$	0	天理高等学校